

会報

全国文化財壁技術保存会

第15号

平成二十七年(二〇二五年)三月二〇日発行
 編集 全国文化財壁技術保存会
 発行 愛知県江南市力長町 大当寺二八
 事務局 愛知県江南市力長町 大当寺二八
 TEL (〇五八七)五九一八〇〇〇



中級研修(課題 六葉塗り)

会長 佐藤 治男



会報十五号発刊に当たり一言
 申し上げます。

近年各地に於いて文化財保存
 修理工事で左官工事の材料の調
 達が困難と聞き及んでいます。
 京都に於いても唯一箇所の中塗
 り土や深草砂利の採取地が京都
 市の都市計画域内ということで、
 今後壁土採取が不可能となり私
 たち文化財保存壁工事に携わる

左官は非常に困難な状況です。
 先祖が遺してくれた遺産を元の
 通りに修復させて頂くのが私た
 ち文化財壁技術保存会会員の義
 務であります。今後壁土が採
 取できなければ如何にすべきか
 考えねばならない時期に来てい
 ると思います。また最近指定
 文化財の保存工事の現場調査に
 行ったところ、元請けの現場員
 の文化財保存壁工事に対する姿
 勢や、施工する一般の左官さん
 の無知さに只々呆れました。こ
 れでは文化財の保存工事ではな
 くて破壊であり嘆かわしいこと
 です。そこで施工される方々は
 事前に私たちと相談して最良の
 方法で文化財が次の世代に受け
 継げるよう考えねばなりません。
 我々保存会会員は国の助成を受
 け文化財の保存の為に技能士の
 養成をしておりますが益々養成
 の重要性を認識し、保存会の拡
 大をはかり充実した組織にせね

ばならないと考えております。

副会長 安達保信



皆様にはご健勝にて、各界に於かれご活躍のこととお慶び申し上げます。当会もご指導及びご支援のおかげをもちまして順調に運営、進展させて頂きますこと篤く御礼申し上げます。平成二十六年は広島地方の集中豪雨や御嶽山の噴火等、災害が発生し甚大なる被害に遭われた方々に、哀悼の意を捧げると共に、お見舞い申し上げる所です。一方、壁保存会が工事開始より見守ってきた国宝姫路城の漆喰

が塗り上がり、立派に完成された事は誠に御同慶に堪えません。

おめでとうございます。当保存会の活動も総会での事業計画通りスムーズに進行致し、養成事業の研修会を八名の研修生が参加し、前期を八月、また後期を十月に終了致しました。また、中級研修は実技試験として六葉の漆喰塗を学科試験合格者八名が受験し、全員合格致しました。

これも会員各位のご理解とご協力の賜であり、感謝いたします。

そして他方、伝統左官技術の広報活動として、岩手県盛岡開催の選定保存技術シンポジウム、京都清水会場にて同じく文化庁事業の文化財建造物保存活用セミナー、また（公社）全国国宝重要文化財所有者連盟主催の伝統技術保存団体連絡協議会の会議、文化財修理技術保存連盟の保存技術資料集作成等に参加致しました。このように関係団体

様と密接に協力し、文化財建造物の重要性を広く一般の人々に認知されるよう活動致しております。

他方、当会の入会事業所も順次増加（本年は二社）しており、活動内容も役員会等で種々に協議を重ねている所です。どうぞ皆様のご協力をお願い申し上げます。

第22期（平成26年度）総会

平成26年5月11日に京都市で第22期定期総会を開催しました。

来賓には、京都府教育庁指導部文化財保護課副課長の鶴岡典慶様、姫路市立城郭研究室室長の村田和宏様、そして上田耕三様にご出席を頂きました。平成25年度の事業報告及び収支報告、26年度の事業計画及び収支予算案の審議を行い、原案のとおり承認されました。



研修生 修了証授与



総会の開催

左官(日本壁)伝承者 養成技術研修会(中級)

平成23年度、25年度の左官(日本壁)伝承者養成中級技術研修(筆記試験)合格者の中から受講生を募集しました。

安達明宏さん、榎本英樹さん、及川敏さん、大石晃司さん、小林常司さん、佐伯愛子さん、志村まい子さん、長谷清高さん、8名の参加により、平成26年6月25日～29日に行いました。

長谷川良夫氏による「犬山市の文化財に対する取り組みについて」の講義を受けた後、実技研修として「六葉の漆喰塗り」を行いました。この後、研修会の総評を行い、5日間の中級研修を終えました。



総評



講義



実技



実技



実技



実技

日本の技 体験フェア

文化財を守る技術をもつ匠たちが全国から大集合する「日本の技体験フェア」が文化庁主催により、平成26年10月25・26日、岩手県盛岡市において開催されました。本会は、活動状況のパネルや左官材料・道具などの展示を行うとともに、他の保存会と協同して「壁掛け」を作る体験ラリーを行いました。



展示



体験



体験

文化財建造物保存活用 公開セミナー(京都市)

平成26年11月1・2日、京都市文化財建造物保存技術研修センターと清水寺において「文化財建造物保存活用公開セミナー」が開催されました。本会は木舞掻き実演・体験、左官材料や活動状況の展示を行い、伝統左官技術の理解を深めていただきました。



木舞掻き体験

左官(日本壁)伝承者養成 技術研修会(基礎講座)

文化財壁技術の継承を図るため「左官(日本壁)伝承者養成研修会(基礎講座)」を、8名の研修生で行いました。前期は平成26年8月25日～30日に、日本城郭研究センター(姫路市)において「左官仕事の心得や日本の壁」「法の歴史・趣旨」「文化財の修理」「姫路城修理と漆喰」の講義「姫路城修理現場見学」を行いました。そして三木市の鋳製造(宮谷製作所他)、堺市の鋳製造所(北正商店)を見学させていただきました。引き続き京都にて「京都府の文化財修理」の講義及び「修理現場見学」を行いました。そして、大津市の津田左官工業所において、土間タタキや版築の実技を行い、前期の研修を終えました。



前期研修 講義

後期研修は、10月6日～11日に行いました。京都において「文化財修理」の講義を受けた後、「左官用の土」について見学をしました。さらに会場を大津市に移し「伝統大工事の仕様」の講義「近江の文化財の講義・見学」を行った後、津田左官工業所において「木舞掻き」の実技を行い、後期研修を終えました。



饅製作所見学



姫路城修理現場



刃製造の説明を聞く



研修生 饅打ち体験



実技研修 版築



刃製造所見学



後期研修 壁土を学ぶ



前期研修



講義



壁土



実技 木舞掻き



修理現場見学



後期研修



実技 木舞掻き

研修を終えて

平成26年度研修生の感想

◆今成 辰夫

平成26年度基礎講座を終え、文化財に対する技術はもとより、考え方・姿勢についてとても刺激を受け勉強になりました。中でも冒頭の佐藤会長の講義の中で言われていた文化財の保存・修理を行う上で大事なことはそれに対する態度と姿勢であるという言葉です。これは研修の間幾度となく言われていました。佐藤会長にこのように言われることにより、私自身もう一度考えさせられ、以後文化財などそれにとらわれることなく民間工事においても態度、姿勢を大事に考え作業にあたりたいと思います。

次に今回訪れた各県、県の職員の皆様の文化財を守る、繋げ

るという姿勢に驚きました。これは私も関東の方とは少し温度差のようなものを感じました。

やはり今回訪れた地より文化財の数などが大きく違い、これにより温度差を感じるのではないかと思います。この温度の差を全国で埋めることにより良いものが次の世代に残せるのではないのでしょうか。見学で訪れた鋳、蒔、竹、土、各職人さん達も高い意識のもとにそれらの物を製作・製造されていました。

この方々の想いを汲み取ることと同じ職人という枠の中で大事なのではないのでしょうか。この他にも各施設、建物も大変素晴らしい物ばかりで先代の職人さん達の技術を垣間見ることが出来ました。このような研修がないとなかなか見ることができ、経験することができないことが数多くあり、とても有意義な勉強となりました。また、研修以外に

も今回参加した他の研修生の方々と会うことが出来たことは私にとって今後財産になるのではないのでしょうか。

最後に今回研修でお世話になりました佐藤会長をはじめとする指導員の方々、事務局の方々につきましてはとても親切にして頂きありがとうございました。研修に参加させて頂いた会社にも感謝をし、この気持ちを2年後の研修にも生かせるよう、また明日からの仕事を頑張り次に会えることを楽しみにしたいと思います。ありがとうございます。

(吉村興業(株))

◆太田 勝之

この度は伝承者養成技術研修会に参加させて頂き、ありがとうございました。

今回の研修では、文化財に登録

されている建造物について学ぶことで、その歴史的背景にある城主や建主に対する自国への愛国心を強く感じました。また「仕事とは仕えることで、対価が誇りである」という職人の精神が、時代を越えて心に響いてきました。そして、道具や材料における作り手の努力や想いを、使い手の我々は無駄にしないように大切にすることを心掛けようと思います。

実技研修では、今までに私が施工してきた版築や三和土は近代的な技術であるため、文化財の修復などでは、地域の素材と当時の技術とで仕上げを目指そうと強く思いました。

今回講義して頂いた先生方、並びに会員の皆様、事務局の方々、大変貴重な経験をさせて頂きありがとうございました。

(太田左官)

◆大田 雄介

この度の研修では文化財について様々な講義を受けたり、見学・体験をさせて頂きました。

特に、三和土については研修後に三和土の現場があったので今回の研修がとても役立ったと思います。木舞掻きについても様々な竹木舞の組み方や縄の掛け方などを教わり、大変勉強になりました。そして各地域の研修生の方々と左官について色々な話をとても刺激になりました。

今回の研修を通して文化財を残していくことの大切さ、残していくことの責任を改めて感じました。そしてこれからは先人の方々が守ってきた伝統と技術に恥じない一流の職人になれるよう日々精進していきたいと思います。

最後になりましたがご指導くださった役員・講師の皆様ありがとうございました。
(株山脇組)

◆加藤 正幸

今回の研修会参加にあたり、佐藤会長をはじめ講師・役員の皆さんありがとうございました。研修で学んだことで文化財や文化に対する考えや見方が変わりました。左官職であることに誇りを持ち、今以上の心構えと向上心を持とうと思います。

版築や三和土は初めての経験でしたが今後も復習して習得したいと思っています。竹小舞でも薄壁用の竹割りや蔵などの大壁下地も今まで経験してきた以上の事を学び、今後の仕事に生かしていきたいと思っています。

(しゃかんかとう屋)

◆木谷 直充

この度は伝承者養成技術研修会に参加させて頂き、ありがとうございました。初めは大変だとばかり

り思っていました。どちらの講義もとても勉強になり、初めて知る事ばかりでとてもためになりました。なにより、参加の研修生の皆さんと仲良くなり、楽しく研修会が出来たことが本当に良かったと思います。

講義で学んだこと、実習、見学で得たものをこれからの仕事に生かして頑張っていきたいです。

佐藤会長をはじめ講師の皆様、大変お世話になりました。ありがとうございました。

(株しつくい浅原)

◆永井 貴晃

今回の研修会において、様々な講義の中で多くのことを学びました。中でも文化財建造物という芸術で人に感動を与えることができ、日本の歴史的建造物を保存することにより日本文化を守ることができるというお話を聞き、文化

財の大切さを色々な人に伝えていき、一流の技術者になれるように日々努力したいと思いました。

また姫路城の見学では、見学という違う角度から見るとまた仕事とは違った感覚で見ることができ、改めて姫路城の仕事に携われたことを光栄に思いました。

他にもさまざまな見学や講義、実技を通して驚きや発見があり、一つひとつが良い勉強となったので、これからの仕事に生かしていきたいと思っています。

(株イスルギ)

◆原 慶介

今回、前期と後期の研修では佐藤会長をはじめ、お世話になった講師の方々にこの場をお借りしてお礼を言わせて頂きたいと思えます。本当にありがとうございました。

前期の講習で三和土の事を学ん

だ後に、仕事で三和土の工事があり、講習で学んだことが大変役に立ちました。また、鋳製造・蒔製造・土製造・下地竹製造の見学と、今まで何気なく使用していた素材の製造工程など、各職人さんのプライドと熱意が伝わり、同じ職人としてとても刺激を受けました。

姫路城の屋根漆喰工事見学・京都の旧三井家下鴨別邸見学・滋賀の近江職人屋敷・彦根城馬屋保存修理工事見学と、それぞれの地域特有の仕事があることを改めて感じ、日頃見ることの出来ない貴重な工事の見学などができ、とても勉強になりました。

今回学んだことを今後の左官人生で生かし、自分なりに試行錯誤を重ねて日々精進していきたいと思っています。

(原左官工藝)

◆森田 真伍

この研修会では、知らないことや経験していないことを前期・後期合せて、先生方の講義、見学や実習等で吸収したり発見できたと思います。

まず講義で特に印象的だったのが村上裕道先生のお話で、色々な角度から文化財というものを見ていく方なんだなあと感じました。文化財というと敷居が高く、簡単には入れないようなイメージでしたが、いかに地域の人たちと価値を共有し活用していくかを考えることにより、人が外からやってきて地域が活性化するという面もあることを知りました。活用の仕方でも良くも悪くもなるのだと感じた講義でした。

見学では鋳の製造、蒔や竹など自分たちの使う道具や材料を身近で見ることができ、良かったです。近江商人屋敷でも蔵の扉や大

津磨きも素晴らしいかったです。実習の三和土では自分たちのやり方と少し違うので色々な発見がありました。木舞掻きでは思っていた以上に結び方、掻き方があり、四苦八苦しながらやっていました。しかしそのような中みんなと一緒に経験できたことは財産だと思います。

佐藤会長をはじめ、安達さん、津田さん、浅原さん、講師の方々、このような研修の機会を設けて頂きありがとうございます。(中島左官(株))

編集だより

会報の発行にあたり原稿を執筆いただきました皆様方に改めてまして御礼申し上げます。今回は中級研修の模様を始めて掲載することができました。また表紙にもその模様を掲載いたしました。文化財修復技術や技能の

継承の難しさが増す今日、中級研修や基礎講座等の研修事業は、大変重要なものであると思っています。研修生の皆さんからは、貴重な感想を寄せていただきました。会長、副会長からのメッセージなど、多様な情報や思いを寄せていただき、多様な紙面になったことに嬉しく思っています。事務局の佐野様にはデータ提供・校正等、ご尽力を頂きましたことに、改めて御礼申し上げます。

(編集事務局)

保存会顧問 上田耕三、事務局 中嶋正雄



会 員 名 簿

	会 員 名	住 所	事業所名等
正 会 員	佐 藤 治 男	京都市左京区下鴨南茶ノ木町23-4	左 官 業 佐 藤
	安 達 保 信	京都市下京区花屋町通り間の町西入る天神町411-2	(有) 安 達 左 官 店
	中 嶋 正 雄	愛知県江南市力長町大当寺128	中 島 左 官 (株)
	田 代 益 市	京都市下京区猪熊通り塩小路下がる上夷町165	(有) 田 代 千 治 店
	石 田 貞 男	さぬき市大川町富田中2147	石 田 左 官 工 業
	小 林 錦四郎	和歌山県有田郡湯浅町湯浅2132-17	小 林 左 官 店
	津 田 誠 一	大津市下阪本1丁目20-22	(有) 津田左官工業所
	山 脇 一 夫	姫路市飯田1-24	(株) 山 脇 組
	浅 原 雄 三	京都市山科区大宅沢町185	(株) しっくい浅原
	片 田 儀 斎	京都市上京区西洞院通中立売下る菊屋町3315	片田儀斎営業所
	本 田 俊 之	大阪府八尾市刑部4-270	本田左官工業所
	松 本 勉	高知県安芸市井ノ口乙 1202-3	(有) 左 官 松 本 組
	阿 嶋 一 浩	東京都葛飾区青戸8丁目19-11	(株) あじま左官工芸
	小 迫 傳	鹿児島県出水郡長島蔵之元3246の1	小 迫 左 工
準 会 員	足 立 三喜男	兵庫県三木市緑が丘町東1-3-4	足 立 組
	石 動 信 明	石川県金沢市神田1丁目31番1号	(株) イ ス ル ギ
	桑 路 丸 幸	兵庫県神崎郡市川町沢115-2	桑 路 建 塗 (株)
	小 林 常 司	京都市中京区東洞院蛸薬師下る元竹田町639-11	左 司
	木 津 恵 雄	京都市東山区古門前通り大和大路東入る二丁目三吉町344	木 津 工 業 所
	加 藤 正 幸	三重県伊賀市東高倉2380-11	しゃかんかとう屋
	太 田 勝 之	香川県三豊市豊中町笠田笠岡3156-3	太 田 左 官
	原 健 一	和歌山県和歌山市湊御殿2丁目6	原 左 官 工 藝
	吉 村 誠	東京都中野区上鷲宮4丁目10番6号	吉 村 興 業 (株)
賛 助 会 員	中 内 庸 司	京都市上京区浄福寺中立売上る東西俵屋町157	中 内 建 材 店
	宮 谷 邦 夫	兵庫県三木市別所町朝日ヶ丘35番地の69	宮 谷 製 作 所
	村 檉 太 郎	栃木県佐野市宮下町1番10号	村 檉 石 灰 工 業 (株)
	北 野 一 成	大阪府堺市中区深井北町104-2	(株) 北 正 商 店
	吉 田 鐵太郎	千葉県いすみ市岩船196	(株) 吉田鉄五郎商店